

10月号は9月28日(日)発行です

「サイクリングしまなみ」開催に伴う通行止めのお知らせ

下記のとおり全面通行止めになる予定です。
通行止め時間内の本州～四国間の通行は、瀬戸中央自動車道・神戸淡路鳴門自動車道をご利用ください。
大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

2014年10月26日(日)6:00～12:00
交通規制区間:西瀬戸自動車道(瀬戸内しまなみ海道)

今治IC ↔ 因島北IC

瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会実行委員会
今治現地本部(今治支局総務県民室内)
☎0898-31-3190

みきゃんの応援をお願いします!

「ゆるキャラグランプリ2014」にみきゃんがエントリー!

投票は9月2日(火)から!
投票はこちら
<http://www.yurugp.jp/>

みきゃん情報はHP, Facebook, Twitterで発信中!
みきゃんのかんづめ 検索

9月1日は「防災の日」、8月30日～9月5日まで「防災週間」

防災は、まず「家庭」から

南海トラフ巨大地震に備えて



家庭でできる防災対策

身のまわりをチェックしてみましょう

昭和56年5月以前に着工した木造住宅の場合

- 家の耐震診断を受けたか
- 家の耐震改修をしたか

□ タンス、食器棚などの家具は倒れないように固定されているか

□ ガラス付きの家具には、ガラス飛散防止フィルムを貼っているか

□ テレビや人形ケースなどを家具の上に置いていないか

□ バルコニー、ベランダの手すりなど落下しやすいところに植木鉢を置いていないか

□ 寝室、幼児・お年寄り・病人のいる部屋に、たくさん家具を置いていないか

□ 非常持出品/携帯ラジオ、懐中電灯、乾電池、現金、貴重品、衣類、タオル、ティッシュペーパーなど

□ 救急医療品/包帯、ばんそうこう、滅菌ガーゼ、三角巾、体温計、はさみ、ピンセット、傷薬、目薬、解熱剤、風邪薬、常備薬など ※応急手当の仕方も学んでおこう

□ 照明器具、額縁、吊り棚の物が落ちてこないか

□ 食器棚などのガラスが割れて、中の物が飛び出したり、2～3段重ねの家具の連結部がはずれて倒れてこないか

□ 火元の付近に燃えやすいものはないか

□ 食料/1週間分を用意 ※非常持出し用としては3日分必要

□ 飲料水/1人につき1日3ℓの水を1週間分用意 ※非常持出し用としては3日分必要

決めておこう!

□ 地震が起こったときの身の守り方、指定緊急避難場所とそこへ行く道順

□ 家族がバラバラに離れているときに災害が発生した場合の連絡方法

□ 火の始末、非常持出品の持ち出しなど災害時における家庭での役割分担

災害は想定外の被害をもたらすもの。「正しく恐れ、日頃から備える」ことが防災の基本やけんね!

もしも南海トラフ巨大地震が発生したら...

最大クラスの震度分布・津波浸水想定等や人的・物的被害等を推計しました。

愛媛県地震被害想定調査結果

	津波による浸水面積	人的被害(死者)(冬深夜)	建物被害(全壊)(冬18時)	避難者数(1カ月後)(冬18時)
松山市	1,041ha	715人	35,759棟	60,518人
今治市	1,407ha	641人	9,096棟	44,963人
宇和島市	1,662ha	2,568人	32,473棟	63,935人
八幡浜市	477ha	770人	12,117棟	28,671人
新居浜市	955ha	1,841人	35,169棟	81,348人
西条市	3,360ha	3,648人	33,132棟	76,145人
大洲市	93ha	484人	9,319棟	28,438人
伊予市	277ha	552人	6,875棟	12,234人
四国中央市	631ha	1,043人	26,288棟	60,249人
西予市	358ha	1,351人	16,719棟	30,756人
東温市	-	126人	4,286棟	16,251人
上島町	136ha	147人	1,663棟	4,802人
久万高原町	-	68人	1,082棟	2,571人
松前町	488ha	258人	8,245棟	20,216人
砥部町	-	16人	285棟	4,085人
内子町	-	84人	1,873棟	4,403人
伊方町	321ha	222人	1,916棟	3,215人
松野町	-	55人	924棟	2,755人
鬼北町	-	176人	2,950棟	6,319人
愛南町	788ha	1,265人	3,457棟	7,028人
合計	11,995ha	16,032人	243,628棟	558,902人

(注)合計値は、小数点以下の取り扱いにより合計が合わないものがあります。

建物の耐震化率等を100%とした場合の人的被害の軽減効果

死者数 **16,032人** → **3,593人** → **2,439人**

【考えられる主な対策】

建物の耐震化率を100%とした場合(調査時71.4%)

揺れ・火災による死者 → **約19分の1に軽減**
(7,431人→401人)

家具等の転倒・落下防止対策実施率を100%とした場合(調査時26.2%)

屋内の転倒落下物等による死者 → **約7分の2に軽減**
(364人→99人)

津波避難意識の向上等により早期避難率を100%とした場合(調査時20%)

津波による死者 → **約9分の2に軽減**
(8,184人→1,886人)

更なる対策で限りなく死者“ゼロ”へ

耐震補強の徹底、津波避難ビルの追加指定、訓練による避難速度の向上 等

南海トラフ巨大地震体験版DVDを作成

県では、南海トラフ巨大地震の概要、県内で想定される被害の状況、一般的な防災対策等を紹介する「南海トラフ巨大地震～地震から命を守る～」(愛媛県南海トラフ巨大地震体験版DVD)を作成しました。県ホームページ(YouTube)からご覧いただけますので、家庭や地域での防災対策の推進にご活用ください。

愛媛県南海トラフ巨大地震体験版DVD 検索

被災地との交流を通して愛媛の絆が生まれています。

県では、職員の派遣など東日本大震災被災地への支援を続けています。そのうち、ヤングボランティアセンターでは、平成23年度から高校生が自分たちができる支援活動に取り組んでおり、今夏は8/4(月)～7(木)に宮城県七ヶ浜町を訪問。現地の方々との交流やボランティア活動を通じて絆を深めました。

8/5(火)宮城県七ヶ浜町児童保育館での活動の様子 ▲

宮城県からメッセージが届きました

宮城県へのご支援ありがとうございます!

東日本大震災の発生から3年半が経過しようとしています。宮城県では、多くのご支援をいただきながら、県民一丸となって復興に取り組んでいます。特に、愛媛県の皆様には、ご寄付やボランティア活動、応援職員の派遣、愛媛県へ避難している方々のための民間住宅紹介制度、「えひめ愛媛の助けあい基金」などを通して、多くのご支援を賜り、心より御礼申し上げます。東日本大震災を機に一層強くなった愛媛県と宮城県の絆を今後とも大切に育んでまいります。復興への道りはまだ長く続きますが、復興に向かって歩む宮城に、引き続きご理解を賜りますよう、よろしく申し上げます。

第62回気仙沼みなとまつりに特別参加した新居浜市の太鼓隊(平成25年8月) ▲

※宮城県復興応援プログラムをご覧ください。ココロプレス 検索

宮城県震災復興推進課 ☎022-211-2408 ☎022-211-2493

木造住宅の耐震化費用を90万円に大幅拡充

昭和56年5月以前に着工した木造住宅について、耐震診断や耐震改修工事等を行う場合、県内の全市町で補助を行っています。26年度より補助金額を大幅拡充し、耐震改修工事費のうち、90万円までは全額補助しています。※宇和島市、大洲市、愛南町は補助率2/3です。補助制度に関する詳細は、お住まいの役場にある「住宅相談窓口」までお問い合わせください。

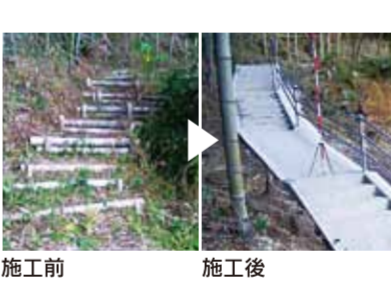
県防災メールに登録しよう

地震・津波、気象注警報、土砂災害警戒情報、河川洪水警報、国民保護情報などの防災情報や緊急のお知らせを、お手持ちの携帯電話やパソコンに電子メールで配信するサービスです。

※無料で利用できますが、通信に関する費用(パケット料)は利用者負担となります。

命を守る避難路等を整備しました

県内でも甚大な被害が予想される宇和海沿岸の5市町を対象に、津波から「逃げる」ための対策として、誰もが安全かつ迅速に避難できるよう、市町が実施する避難路等(352カ所)の整備を支援しました。



指定避難所への資機材の整備促進

県では、災害対策基本法に基づき、市町が指定する指定避難所等への発電機、投光器などの資機材整備費用の一部を補助。市町の防災対策を促進しています。